



避難行動要支援者の避難支援について

地域の皆さんへ

障がい者、要介護者などの人たちは、災害が発生した場合に一人で避難することが困難です。このような避難行動要支援者（要支援者）の人にとって、災害時に一番頼りになるのは近所の方々です。

要支援者を理解し、地域で支え合うことで、災害による被害を最小限に抑えましょう。

その1 地域の避難・安否確認体制を整える！



災害が発生したとき、支援者となる地域の方々がまず無事でなければ、要支援者を支援することはできません。

地域や各家庭の避難・安否確認体制を整えて、災害時においても冷静に対処し、要支援者を支援できるようにしておく必要があります。

その2 要支援者のリストやマップを作成しよう！

要支援者の人数や所在を把握するために、会員名簿や地域の地図に要支援者の情報を載せ、支援の必要性が高い順に赤、黄、青と色分けすると、対象となる要支援者をわかりやすく整理できます。



市では、情報提供の同意を得た要支援者の方々を避難行動要支援者名簿に登録し、地域の自治会や自主防災組織の支援者の方々に、守秘義務を課した上で配布できるようにしています。

配布を希望する場合は、危機管理課までお問い合わせください。

その3 要支援者の個別支援プランを建て、防災訓練を実施しよう！



災害時に備えて、要支援者の個別支援プランを作成しましょう。個別支援プランは、要支援者本人やその家族はもちろんのこと、地域の方々と協力して作成しましょう。

また、災害時にも冷静な対応が出来るよう、要支援者の避難支援を想定した防災訓練を実施することで、支援プランの実効性の見直しができます。